

公益社団法人 茨城県診療放射線技師会

INFORMATION

〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内 発行責任者：横田 浩 編集：小原 孝夫
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

《H24年度決算総会開催される》

平成25年5月26日午前9時30分より茨城県総合福祉会館において、社員総会を開催した。社員の総数655名、議決権の総数655個出席社員の数（委任状含む）402名

出席理事：横田浩、長谷川光昭、鈴木達也、平井正幸、小原孝夫、會澤敏広、川又誠、坂井朋夫、水木一弘、広瀬和夫、村木一夫、小仁所圭子、川又拓、梶山裕晃、波多野浩嗣、宮本勝美

出席監事：中澤洋治、田尻明裕

上記のとおり、総社員の議決権の数の2分の1以上の社員の出席があったので、本社員総会は適法に成立した。

定刻、伊東善行議長のもと、開会を宣し直ちに議事に入り、第一号議案から第四号議案まで承認可決いただきました。

《平成25年度第1回理事会議事録》

開催日時：平成25年5月26日(日)12:30～

場所：茨城県診療放射線技師会事務所

出席理事：横田 浩、長谷川光昭、小原 孝夫、平井 正幸、川又 誠、會澤 敏広、梶山 裕晃、坂井 朋夫、川村 拓、水木 一弘、広瀬 和夫、村木 一夫、宮本 勝美、小仁所 圭子

監事：中澤 洋治、田尻 明裕

委任者：鈴木 達也、館野 誠、仲田 智彦、山下 ひろみ、野澤 哲也、波多野浩嗣

議長：横田 浩

書記：長谷川 光昭

出席理事14名、委任6名で理事会開催規定を満たすことが宣言され、議事に入った。

【議事】

【1】会長報告（横田会長）

①関東甲信越診療放射線技師学術大会（つくば国際会議場）の市民公開講座は筑波大久野先生（内容未定）と放射線検査の有用性（筑波大放射線科）、「放射線検査は怖くない」（横田大会長）の3つを予定している。承認

②65周年記念の会員名簿を作成するので、理事は顔写真を送ること。

③本日の決算総会での会員よりの発言で、地

区会の講習会等のイベント参加者が少ないという問題について、どのように進めていけばよいか次回理事会の審議事項とする。

④来年は当会の役員改選の年となるので、引退する理事は後任を推薦してほしい。

⑤平成25年度茨城県診療放射線技師学術大会を来年2月23日（日）に茨城県立医療大学で開催する。22日（土）の会場の準備は、つくば周辺の理事で行う。予算総会も開催するが、例年より時期が早いいため、各部、委員会研究会の予算書の提出を早め、12月中旬にまとめられるようにする。また、大会テーマ、講演等の案を鈴木副会長に提案してほしい。

【2】細則について（小原常務理事）

（資料；福利厚生に関する規定、講師謝礼並びに交通費等支給規定（案））

①福利厚生に関する規定第3条(3)は会員の配偶者・両親および同居または扶養中の子供弔電、供花とし、3についてはこの法人の会員資格を失った者及び前年度の会費が支払われていない会員には、給付を行わないとする。

—承認—

②講師謝礼並びに交通費等支給規定については、「各条文の文言を次のとおりとする」を、「次の額を基準とする」に改める。また、会員に周知するためにインフォメーションに掲載し案内する。また、ホームページにも細則を掲載する。

—承認—

【3】その他

①つくば国際大学より、当会に研究会、講演会等で施設を利用してくださいとの連絡があった。（坂井理事）

②ピンクリボンフェスティバルの放射線展を11月のレントゲン週間に開催し、日放技との共催としたい。（横田会長）

③25年度決算総会を26年5月25日（日）茨城県総合福祉会館4F中研修室で行う。

次回開催 未定 別途連絡



《 お 知 ら せ 》

1. 第8回放射線安全講習会のお知らせ

放射線利用施設では職員に対して、放射線の安全利用に関する教育や研修などを定期的
に実施することが必要とされています。本講
習会は法律などで規定されている内容を含み、
必要な時間数に充当することができます。日
頃から放射線診療業務に関わる医療関係者の
方々の参加をお待ちしております。

日程：平成25年7月7日(日) 9:30~12:30

場所： 県北医療センター高萩協同病院

参加費：会員 500 円、非会員 1,000 円

問合せ：伊東善行 TEL:029-851-3511

e-mail: z-ito@tmch.or.jp

2. 第93回超音波研究会のご案内

超音波研究会では、テーマを“症例から学
ぶ”と題し定期的に症例検討会の企画してい
ます。症例検討会では種々の症例を通し超音
波所見の見方や考え方を学んで頂き、翌日か
らの業務に直結するような内容を予定してお
りますので奮ってご参加下さい。

【テーマ】「症例から学ぶ」

日時：平成25年7月12日(金) 18:30~

場所：筑波学園病院

問合せ：東京医科大学茨城医療センター

放射線部増田光一、029(887)1161 内線 7218

mail: k-m@tokyo-med.ac.jp

3. 『放射線検査のための手話講習会』

開催のご案内

今年度も下記のとおり『放射線検査のための
手話講習会』を開催いたします。

この講習会は、聴覚障害者に安心して検査を
受けていただき、よりよい検査を実施するた
めに行っております。聴覚障害者とのコミュ
ニケーション方法を中心に、臨床現場を再現
するなど業務に直結した内容です。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、多
数ご参加下さいますようお願いいたします。

日 時：H25年8月1日(木) 18時30分~

場 所：水戸済生会総合病院5階丹野ホール

会 費：無料

講習内容：1. 病院における聴覚(コミュニケ
ーション)障害への対応、2. 簡単な手話

講師：茨城県聴覚障害者協会講師

問合せ：おおたしろクリニック 中野恵

TEL: 0294-22-8800

4. 撮影技術研究会講演会のご案内

平成25年度の第1回講演会を下記のとおり
開催いたします。ご多忙中とは存じますが、
万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいま
すようお願い申し上げます。

日 時：平成25年8月24日(土) 16時~

場 所：筑波メディカルセンター病院会議室

テーマ：「小児撮影について」

①小児撮影の特殊性、②被ばく、③小児撮
影の画像処理、④小児撮影の撮影条件

《 行 事 報 告 》

1. 消化管撮影研究会開催報告

3月14日(木)茨城県総合福祉会館4階中
講義室にて、消化管撮影研究会を開催しまし
た。(参加者27名)

テーマは『胃 X 線検査における読影につい
て』と題して、東京都がん検診センター消化
器内科医長小田丈二先生をお招きし、検査画
像を読影する上で必要な言葉の解説を始め、
豊富な画像を提示していただき隆起性病変、
陥凹性病変の悪性所見の捉え方等についてご
講演頂いた。症例検討では、フロアの参加者
や、小田先生に、提示した画像を読影してい
ただき、消化管検査の基本となる透視観察、
追加撮影の重要性、撮影時における存在診断
および質的診断などについて積極的な意見交
換がされ、大変有意義な研究会となりました。

(斎藤哲也)



2. 第90回 超音波研究会 報告書

3月16日(土)筑波メディカルセンター病院
西館3階TMCホールで第90回超音波研究会を
開催しました。(参加者18名)

今回は、超音波診断装置の精度管理 ~装置の
性能を活かすために何をすべきか~をテーマ

に、東京慈恵会医科大学附属柏病院放射線部井野貴明先生からご講演を頂きました。

講演では、装置の精度管理を、受け入れ試験・定期点検(メーカー・自主点検)・始業終業点検・精度管理に分類し、それぞれの項目について画像を織り交ぜながらわかり易く解説して頂きました。また、先生の施設では精度管理用のファントムをいくつも自作されており、それらを用いた定期点検の様子も解説して頂きました。今回の研究会は装置の精度管理の重要性や必要性を改めて認識することが出来た大変有意義な会となりました。

(文責 藤咲賢)



3. H25 年度フレッシューズセミナー開催報告

日本診療放射線技師会と共催しています「フレッシューズセミナー」を、5月12日(日)に茨城県立医療大学で開催しました。医療人として必要なエチケット・マナー、医療安全学、医療感染学、気管支解剖学に加え、日本放射線技師会の活動内容と茨城県放射線技師会の組織に関して説明し、技師会への入会促進を行いました。会員・非会員をあわせ24名の新人の参加がありました。



4. 県東地区シンポジウム報告

5月15日(水)、鹿島セントラルホテルにて、県東地区シンポジウムが開催しました。「読影補助」と題して、講師に古川一博先生(日本医科大学千葉北総病院)を迎え、一般診療から救急まで、さまざまな症例を挙げて頂き読影のポイントを講演いただきました。また、地区の親睦を深めようということで、参加施設の現状やトピックスを報告して頂きました。同じ地域に勤務する技師間で情報交換をし、地区のつながりが深まった会となりました。参加者：35名(梶山 裕晃)



5. 平成 24 年度 CT 研究会開催報告

日時：平成 25 年 6 月 4 日 19:00～
場所：オークラフロンティアホテルつくば
参加人数：110名

内容は、救急医療における基礎知識というテーマで心臓画像クリニック飯田橋の吉田諭史先生のご講演。救急撮影認定技師の認定制度が広まりつつある中、興味はあるがまだ取得していない、存在すら知らないというのが現状です。撮影技術だけでなく救急患者と接する上で環境整備の大切さなど幅広くお話していただきました。



CTにおける被曝低減というテーマで広島大学大学院医歯薬保健学研究院放射線診断学教授栗井和夫先生のご講演。最新CTに搭載されている被曝低減ソフト等について貴重なお話を聞くことができました。（報告者 鈴木）

《 会 員 動 向 》

1. 会員数… 663名（2013.6.21現在）
2. 入 会
若林 亮 筑波メディカルセンター病院
吉田昌弥 筑波メディカルセンター病院
増田祐一 茨城県立こども病院
日木あゆみ 茨城県立こども病院
吹野早苗 水戸赤十字病院
山中雅行 茨城西南医療センター
鳥畑貴詩 水戸ブレインハート

『公益社団法人への移行にあたり、各種細則の一部を変更しています。今回会員の皆様に特に関係する規程を掲載いたします。その他の細則も含め全文は技師会HPに掲載しておりますので、ご一読よろしくお願い致します。』

『福利厚生に関する規程』

[目的]

第1条 この規程は、会員の福利厚生に関する事項を定め、相互扶助の精神に基づき運用が適正に行われることを目的とする。

[事業]

第2条 本規程は第1条に基づき次の事業を行う。

- 2 会員に対する弔慰金並びに見舞金の支給
- 3 その他会員の福利厚生に関する事業

[給付]

第3条 給付は、以下の通りとする。

- (1) 弔慰； 供花、弔電
- (2) 結婚； 祝電
- (3) 配偶者等に対する弔慰
会員の配偶者・両親及び同居または扶養中の子供 供花、弔電
- 2 当事者の希望等により供花辞退の時は弔電のみとする。
- 3 この法人の会員資格を失った者及び前年度の会費が支払われていない会員には、給付を行わない。
- 4 火災、自然災害等による見舞金等はその都度協議して支給する。

[運用]

第4条 必要経費は、会員の年会費より拠出し福利厚生費として計上する。

[手続き]

第5条 給付を受ける事由が発生したときは、該当する者又はこの事由を知った会員は、速やかに事務局に連絡し、また、事務局は直ちに担当理事に連絡しなければならない。

[規程の改廃]

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

『講師謝礼並びに交通費等支給規程』

[趣 旨]

第1条 公益社団法人茨城県診療放射線技師会（以下本会とする）主催による各種講演等における講師謝礼金および交通費等の支給内容について定める。

[支給範囲]

第2条 本会の会務について活動した者。

[謝礼額]

第3条 講師謝礼額は次の額を基準とする。

- 1 大学等の教授40,000円、准教授30,000円、講師25,000円、その他15,000円
- 2 医療機関等の医師20,000円、その他医療従事者15,000円
- 3 本会技師は無給とする

[交通費等]

第4条 交通費等は次の額を基準とする。

- (1) 公共交通機関の利用はその全額を支給する。
- (2) 自動車の利用は走行距離（km）に応じて15円を乗じた金額を支給する。
- (3) 高速道路分は片道分のみ支給する。
- (4) 会務中の駐車料金を支給する。
- (5) 県外の出張の場合宿泊代金を支給する。
- (6) その他会長が必要と認めた場合。

[申 請]

第5条 旅費等の申請は次を基準とする。

- (1) 第4条第1項について乗車駅名、停留所、降車駅名または停留所と乗車金額を報告し支給を受けることとする。
- (2) 第4条第2項について出発地名、到着地名と走行距離を報告し支給を受けることとする。
- (3) 第4条3項、4項、5項、6項について領収書等の支払い証明書を貼付し支給を受けることとする。

[その他]

第6条 会長は関係役員に出張を命じる事ができる。

[規程の改廃]

第7条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。